

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和6年1月18日(木)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO31 校長 月原 浩

令和5年度 CS 春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵なお日

～気づき・考え・行動する～

4年ぶり 外まで避難(訓練)しました



先週12日(金)に地震対応の避難訓練を行いました。地震発生後、給食室で火災が発生したことを想定しての訓練です。

まず各教室で、地震や火災からどのように身を守ればよいかの映像を視聴し、事前学習を行いました。そして、教頭先生から地震発生、少し時間をおいて給食室からの火災発生の放送を聞き、望ましい避難経路を通して運動場に避難しました。

運動場に全学年が出てきたのは、わずか3分20秒後、全員の人員確認を終えたのが4分40秒！！これだけの

人数がいる天小でとても素早い避難、とても4年ぶりに行ったとは思えない姿でした。並んだ後の態度も話を聴くぞという雰囲気があり、大変すばらしい訓練でした。避難訓練の責任者の板橋貴裕教諭が言っていた「練習は本番のように 本番は練習のように」が体现できそうな姿でした。

教室に帰り、全校TV放送でふりかえりを行いました。その中で私は次のような話をしました。今回の訓練は、800名を超える児童の集団訓練。このような場合、パニックにならず、リーダーの指示に従い、今回のような整然とした避難が大切。

しかし、災害はいつ、どこで起こるか分からない。自分1人でも避難できなくてはならない。そこで子どもたちに問いかけました。地震が起きました。まず、あなたはどうしますか？それからどうしますか？そして・・・？と考えさせました。中身は、お子さんと是非話し合ってください。

最も大切なのは「どこで、何が起きているのか」を知る、聞く、確認すること。そして自分で最善策を考え、落ち着いて行動することだと思います。これは日頃の生活で、人の話をよく聞く、放送が始まったら静かに聞く、などの行動を積み上げていく必要があります。

どうしても助からない、救えない場合もあると思いますが、最善を尽くすことは大切です。子どもたちにとって、この訓練をきっかけに、自分や大切な人たちの命を守るために、もし家で、外出先で、災害が起こった時に、どう行動したら良いか考えてくれたらと思っています。